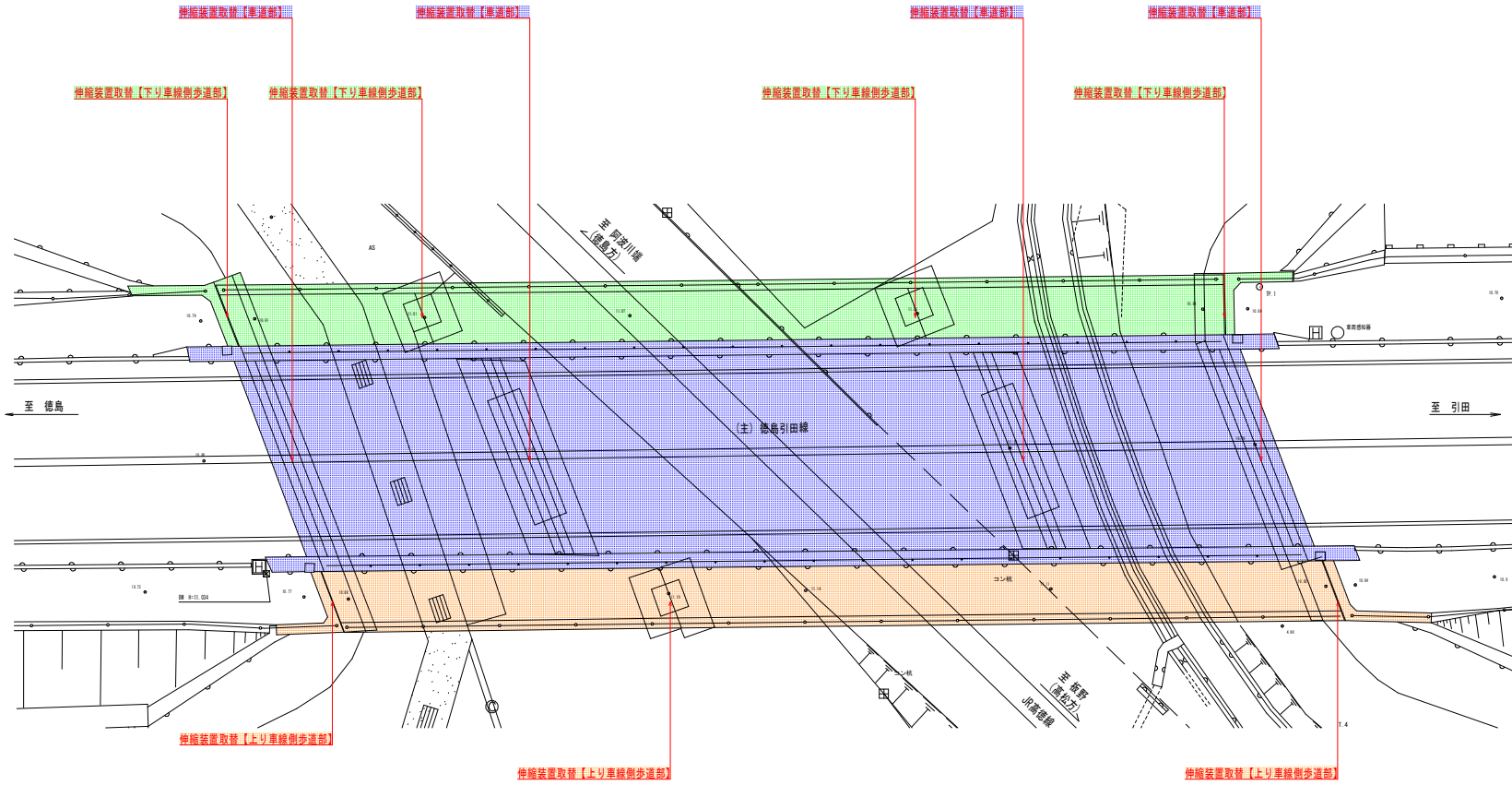


橋面：補修計画一般図

平面図 S=1:100

凡例

- 車道部
- 上り車線側歩道部
- 下り車線側歩道部



車道部橋面部 部材別補修計画

1. 橋面	路面	第1区間	第2区間	第3区間
		1. 床版防水工 2. 舗装工 3. 段差抑制工	1. 床版防水工 2. 舗装工	1. 床版防水工 2. 舗装工
2. 附属物	伸縮装置	4. 伸縮装置取替	4. 伸縮装置取替	4. 伸縮装置取替
	地覆	5. ひび割れ注入工	5. ひび割れ注入工	5. ひび割れ注入工
3. 附属物	防護柵、高欄	1. 防錆処理 (Gr基部) 2. すり抜け防止フェンス取替	1. 防錆処理 (Gr基部) 2. すり抜け防止フェンス取替	1. 防錆処理 (Gr基部) 2. すり抜け防止フェンス取替
	排水施設	4. 清掃	4. 清掃	4. 清掃

上り車線側歩道部橋面部 部材別補修計画

3. 橋面	路面	第1区間	第2区間
		1. 床版防水工 2. 舗装工 3. シリコン粘着シート設置	1. 床版防水工 2. 舗装工 3. シリコン粘着シート設置
4. 附属物	伸縮装置	4. 伸縮装置取替	4. 伸縮装置取替
	排水施設	1. 取付金具取替	1. 取付金具取替

下り車線側歩道部橋面部 部材別補修計画

5. 橋面	路面	第1区間	第2区間	第3区間
		1. 床版防水工 2. 舗装工 3. シリコン粘着シート設置	1. 床版防水工 2. 舗装工 3. シリコン粘着シート設置	1. 床版防水工 2. 舗装工 3. シリコン粘着シート設置
6. 附属物	伸縮装置	4. 伸縮装置取替	4. 伸縮装置取替	4. 伸縮装置取替
	防護柵、高欄	5. ひび割れ注入工	5. ひび割れ注入工	5. ひび割れ注入工
フェンス	排水施設	1. 防錆処理	1. 防錆処理	1. 防錆処理
	2. 取付金具取替	2. 取付金具取替	2. 取付金具取替	2. 取付金具取替
3. 清掃	3. 清掃	3. 清掃	3. 清掃	

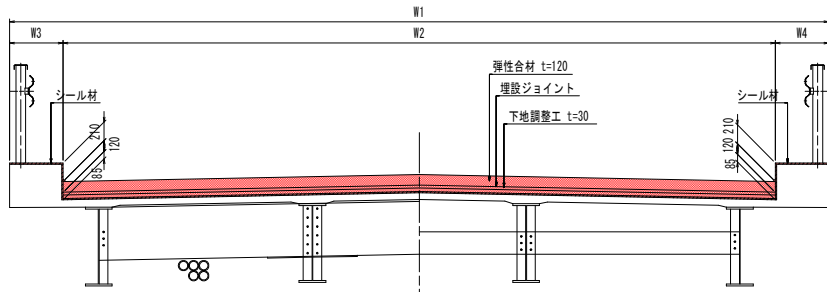
実施設計図面

工事名	R1徳士 徳島引田線 板・川線 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野町板野町川線 (板野跨線橋)		
図面名	橋面：補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	1/4
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島庁舎)		

伸縮装置補修計画図(その1)

車道部

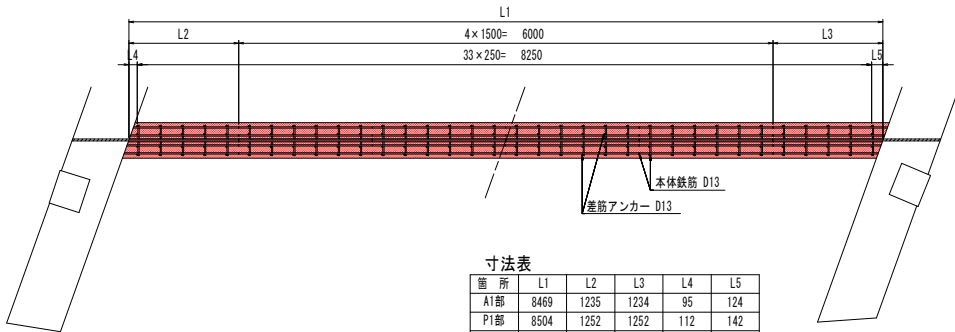
断面図 S=1:30



寸法表

箇所	W1	W2	W3	W4
A1部	9751	8469	637	645
P1部	9788	8504	639	645
P2部	9809	8529	639	641
A2部	9815	8537	639	639

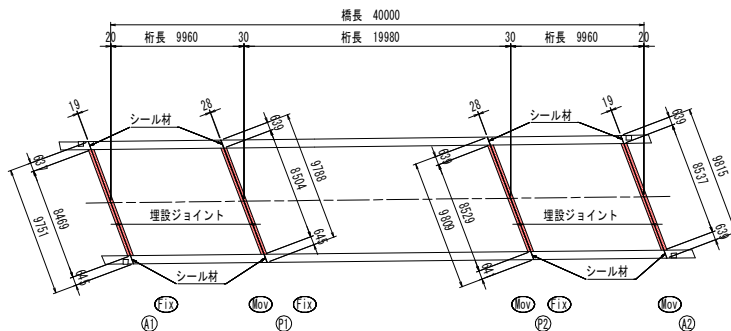
部材平面図及びアンカー筋配筋図 S=1:30



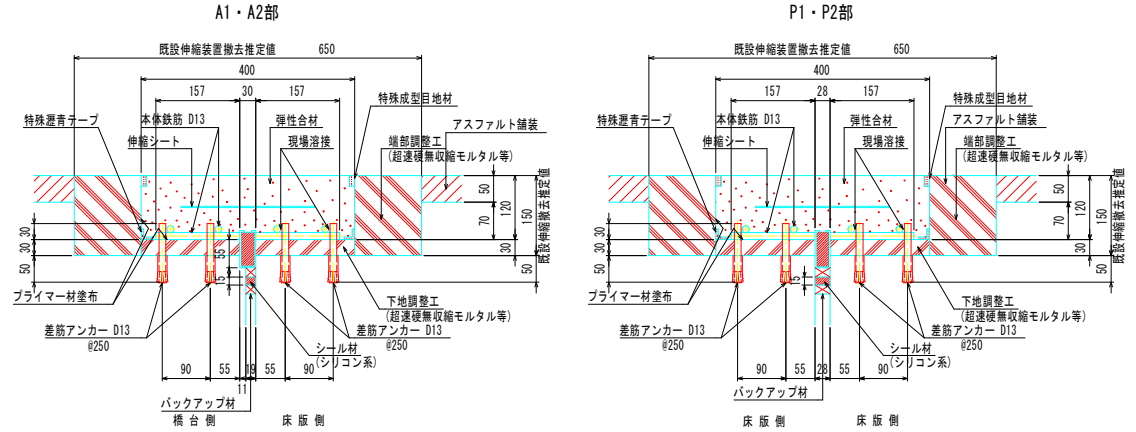
寸法表

箇所	L1	L2	L3	L4	L5
A1部	8469	1235	1234	95	124
P1部	8504	1252	1252	112	142
P2部	8529	1266	1263	126	153
A2部	8537	1271	1266	131	156

配置図 S=1:200



伸縮装置取付断面図 S=1:5



注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。

注2) 端部調整工の定着用鉄筋は必要に応じて別途考慮のこと。

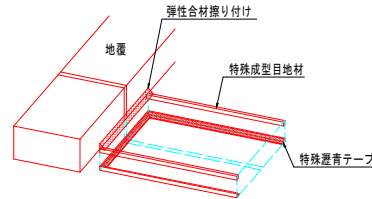
注3) 弾性合材を舗装する際には、特殊成型目地材・特殊選青テープを使用すること。

注4) 特殊成型目地材は側面及び路面に立ち上がりがない場合、弾性合材舗装にて設置、

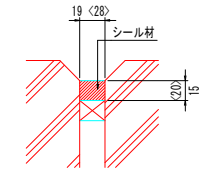
特殊選青テープは施工箇所を囲むように設置すること。

注5) 既設伸縮装置は、ゴムジョイントを想定。

施工境界部イメージ図



シール材充填図 S=1:2



注) < >内はP1・P2部を示す。

数量表(設置)

名称	単位	数量	備考
伸縮金物(埋込ジョイント用)	m	34.04	本体鉄筋、伸縮シート装備。
プライマー材	kg	10.8	
弾性合材	m ³	1.634	
シール材	L	17.2	地覆部・伸縮部
特殊成型目地材	m	72.20	
特殊選青テープ	m	72.20	
バックアップ材	m	34.04	
差筋アンカー(D13)	本	544	

※ 斜角は資料を基に計測した数値である。

数量表(撤去及び他材料)

名称	仕様	単位	数量	備考
既設伸縮装置撤去	ゴムジョイント	m	34.04	
端部調整工	超速硬無収縮モルタル等	m ³	0.851	$\sigma=24N/mm^2$
下地調整工	超速硬無収縮モルタル等	m ³	0.379	$\sigma=24N/mm^2$

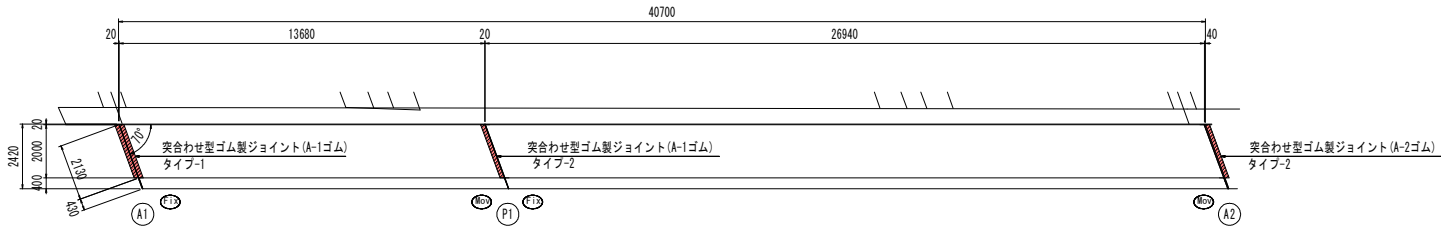
実施設計図面

工事名	R1橋土 徳島引田線 板・川端 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	伸縮装置補修計画図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	2/4
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

伸縮装置補修計画図(その2)

上り車線側歩道部

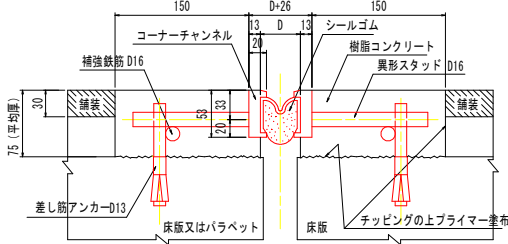
平面図 S=1:100



設置遊間

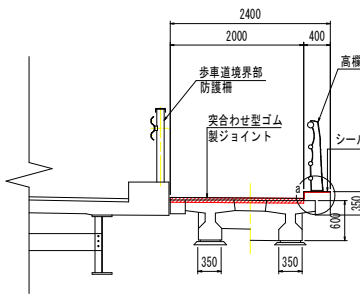
伸縮継手補修断面図 S=1:3

突合せ型ゴム製ジョイント(タイプ-1)

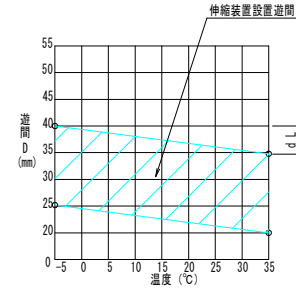
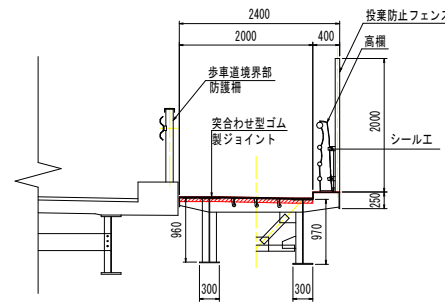


断面図 S=1:40

1径間(プレテンT桁)



2径間(鋼床版1桁)

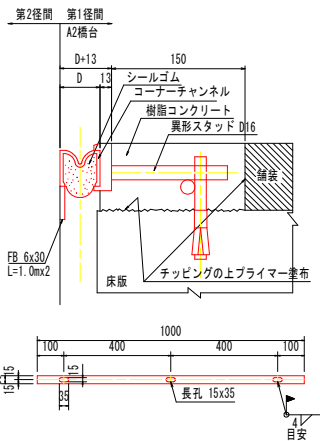


P1橋脚

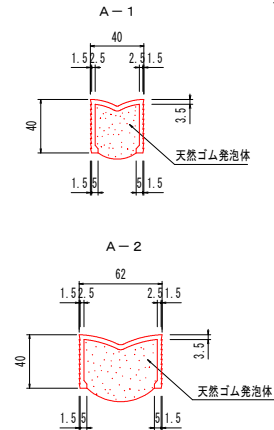
伸縮量
 $dL = 0.4 \times 13.68 \times \sin 70^\circ = 5.2 \text{ mm}$
 $dL + 10 \text{ (余裕量)} = 5.2 + 10 \text{ mm} = 15.2 \text{ mm}$
 伸縮量 20mmタイプ
 最大床版遊間
 $d_{max} = 20 \times \sin 70^\circ + 5.2 / 2 = 21.4 \text{ mm}$
 最大床版遊間 22mm以上

伸縮継手補修断面図 S=1:3

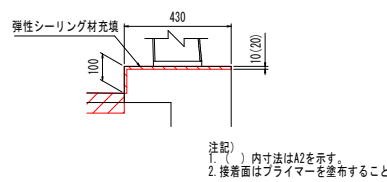
突合せ型ゴム製ジョイント(タイプ-2)



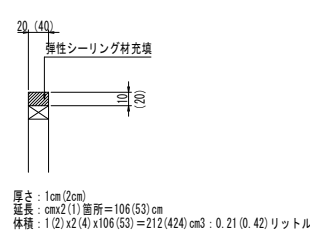
シールゴム詳細図 S=1:2



a部詳細図 S=1:10



目地充填図 S=1:2



突合せ型ゴム製ジョイント数量表(全長当たり)

名称	規格・細目	単位	数量	内訳
施工延長		m	6.39	=2.13x3
樹脂モルタル	樹脂モルタル(1:5配合)	m ³	0.089	0.150(幅)x0.070(厚)x4(箇所)x2.13(延長) 鋼床版は片側のみ
		kg	34.1	0.089x2.00(比重)x1000x1/6x1.15(ロス率)
	樹脂モルタル(1:4配合)	m ³	0.006	0.150(幅)x0.005(厚)x4(箇所)x2.13(延長)
		kg	2.7	0.006x1.95(比重)x1000x1/5x1.15(ロス率)
プライマー	接着剤用けい砂	kg	181	[(0.089x5/6x2.00)+10.006x4/5x1.95]x1000x1.15(ロス率)
		m ²	2.26	[0.150(幅)+0.075(厚)+0.040(コーナー金具高)]x4x2.13(延長)
CFRP	含浸材	kg	4.3	4x2.13(延長)x0.5(kg/m)・・・1mあたり0.5kg使用(片側分)
	カーボンガラスロービングクロス	m	17.0	4x2.13(延長)x2(m/m)・・・1mあたり2m使用(片側分)
シール材	ジョイントシールゴム A1	m	4.3	2.13(延長)x2箇所
	ジョイントシールゴム A2	m	2.1	2.13(延長)x1箇所
	コーナーチャンネル	m	8.52	=2.13x4
シール材		kg	0.64	8.52(延長)x0.075(kg/m)・・・1mあたり0.075kg使用(片側分)

注記

・施工延長、設置遊間は現地計測のうえ、決定すること。

実施設計図面

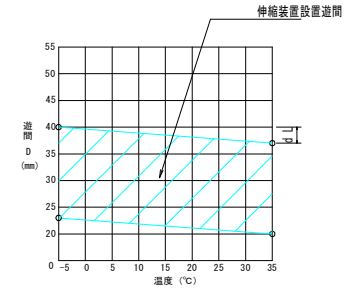
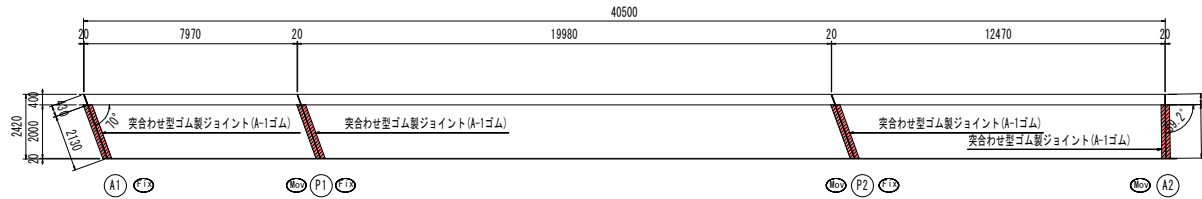
工事名	R1徳土 徳島引田線 板・川線 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川線(板野跨線橋)		
図面名	伸縮装置補修計画図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	3/4
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

伸縮装置補修計画図(その3)

下り車線側歩道部

設置遊間

平面図 S=1:100

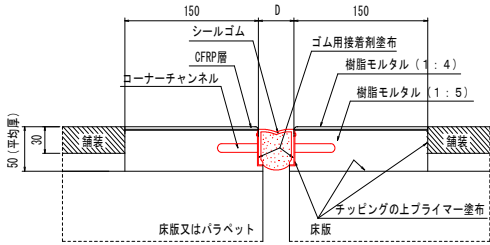


P1橋脚
 伸縮量
 $dL = 0.4 \times 7.97 \times \sin 70 \approx 3.0 \text{mm}$
 $dL + 10 (\text{余裕量}) = 3.0 + 10 \text{mm} \approx 13 \text{mm}$
 伸縮量 20mmタイプ
 最大床版遊間
 $d_{\text{max}} = 20 \times \sin 70 + 3/2 \approx 20.3 \text{mm}$
 最大床版遊間 21mm以上

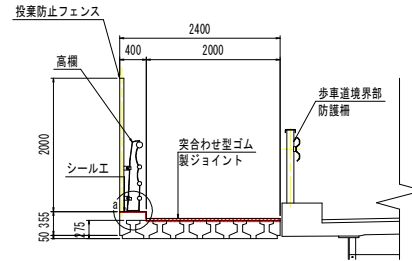
伸縮継手補修断面図 S=1:3

突合わせ型ゴム製ジョイント

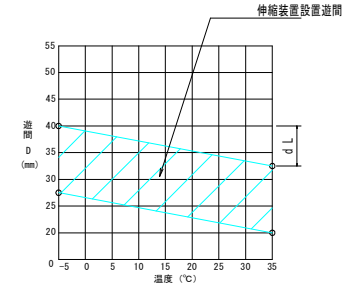
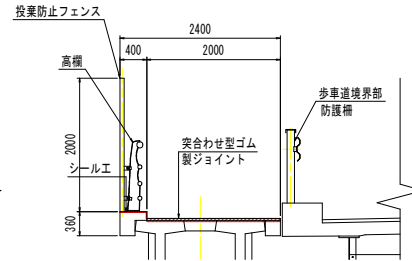
断面図 S=1:40



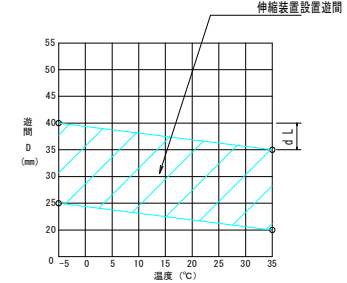
1径間(プレテン1桁)



2径間, 3径間(プレテン1桁)

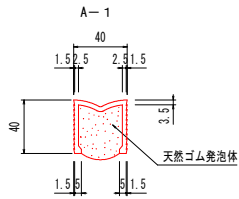


P2橋脚
 伸縮量
 $dL = 0.4 \times 19.98 \times \sin 70 \approx 7.5 \text{mm}$
 $dL + 10 (\text{余裕量}) = 7.5 + 10 \text{mm} \approx 17.5 \text{mm}$
 伸縮量 20mmタイプ
 最大床版遊間
 $d_{\text{max}} = 20 \times \sin 70 + 7.5/2 \approx 22.5 \text{mm}$
 最大床版遊間 23mm以上

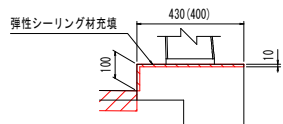


A2橋台
 伸縮量
 $dL = 0.4 \times 12.47 \times \sin 89 \approx 5.0 \text{mm}$
 $dL + 10 (\text{余裕量}) = 5.0 + 10 \text{mm} \approx 15 \text{mm}$
 伸縮量 20mmタイプ
 最大床版遊間
 $d_{\text{max}} = 20 \times \sin 89 + 5.0/2 \approx 22.5 \text{mm}$
 最大床版遊間 23mm以上

シールゴム詳細図 S=1:2

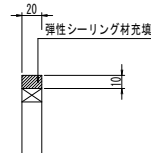


a部詳細図 S=1:10



厚さ: 1cm
 延長: 53 (50) cm x 3 (1)箇所 = 159 (50) cm
 体積: 1 (1) x 2 (2) x 159 (50) = 318 (100) cm³: 0.32 (0.10) リットル
 注記)
 1. () 内寸法はA2を示す。
 2. 接着面はプライマーを塗布すること

目地充填図 S=1:2



突合わせ型ゴム製ジョイント数量表 (全長当たり)

名称	規格・細目	単位	数量	内訳
施工延長		m	8.39	≈ 2.13 x 3 + 2.00
樹脂モルタル	樹脂モルタル(1:5配合)	m ³	0.113	0.150(幅) x 0.045(厚) x 2(箇所) x 8.390(延長)
		kg	43.3	0.113 x 2.00 (比重) x 1000 x 1/6 x 1.15 (ロス率)
	樹脂モルタル(1:4配合)	m ³	0.013	0.150(幅) x 0.005(厚) x 2(箇所) x 8.390(延長)
		kg	5.8	0.013 x 1.95 (比重) x 1000 x 1/5 x 1.15 (ロス率)
プライマー	接着剤用けい砂	kg	240	[0.113 x 5/6 x 2.00] + [0.013 x 4/5 x 1.95] x 1000 x 1.15 (ロス率)
		m ²	4.0	[0.150(幅) + 0.050(厚) + 0.040(コーナー金具高)] x 2 x 8.390(延長)
CFRP	含浸材	kg	8.4	4.0 x 1.00 (kg/m ²) x 2.1mあたり1kg使用
		m	8.4	8.390(延長) x 1 (kg/m) x 1mあたり1kg使用
シール材	カーボンガラスローピングクロス	m	33.6	8.390(延長) x 4 (m/m) x 1mあたり4m使用
		m	16.8	ジョイントシールゴム A1
シール材	コーナチャンネル	m	16.8	
		kg	1.3	8.390(延長) x 0.15 (kg/m) x 1mあたり0.15kg使用

注記)
 ・施工延長、設置遊間は現地計測のうえ、決定すること。

実施設計図面

工事名	R1橋土 徳島引田線 板・川端 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	伸縮装置補修計画図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	4/4
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		